

和歌山病院での実習を終えて



西上 浩司

この度は、2日間和歌山病院で実習させていただきありがとうございました。N95 マスクをつけて結核病棟を見学するなど、和歌山病院でしかできない体験やわかりやすいセミナーをしていただき、これから勉強をしていく上で良い経験をさせていただきました。

中でも印象に残っているのは、南方院長によるレントゲン読影のセミナーです。なぜ、どのように、レントゲンに映し出されるのか、丸暗記ではなく、思考することで学ぶことが出来ました。日頃、暗記ばかり行い、思考することを忘れていたことを痛感させられました。先生もおっしゃっていましたが、2日間の実習はあくまでも風穴が空いたに過ぎません。ここで学んだこと、先生に開けていただいた風穴を利用し、さらに自分で大きなものにしていかなければなりません。これから勉強する際には、しっかり思考する時間を取り、丸暗記するだけでは理解し得ないことにも考えが及ぶようにしていきたいと思います。また、大学病院に帰り、実際の患者さんの多くのレントゲンをみることで、先生に教えていただいたことを自分のものにしていきたいと思います。

2日間本当にありがとうございました。